

# 在籍車両形式別写真

鹿児島市交通局  
令和8年4月1日現在

## ①500形

【1955年製造 1両】



500形と600形の違い: 車両外観は似ているが、窓と台車の形状が異なる。

現役車両で最も古い車両 (66歳)

## ②600形

【1959年～63年製造 8両】



## ③2100形

【1989年製造 2両】



鹿児島市制百周年及び交通局発足60周年を記念して製造

## ④2110形

【1991年製造 3両】



鹿児島市交通局初のVVVF制御車両

## ⑤2120～2140形

【1991～94年製造 6両】



2100形～2140形はJR九州鹿児島車両所で作成

## ⑥9500形 車体更新車

【1995～2000年製造 14両】



旧800形台車を利用し、車体だけを更新した車両

## ⑦9700形

【1998年製造 2両】



9500形と外観は似ている新造車

## ⑧1000形 国産初の超低床電車

【2001～05年製造 9両】



愛称『ユートラム』 バリアフリー対応で車内に段差が無く停留場との段差は5cm

## ⑨7000形 接続式超低床電車

【2007～08年製造 4両】



愛称『ユートラムⅡ』 バリアフリー対応で輸送力をアップ。2021年より姉妹・友好都市号として運行

## ⑩7500形 超低床電車

【2017～19年製造 4両】



愛称『ユートラムⅢ』 1000形とほぼ同じ長さで、運転席を縮小し、客室を広くすることで定員を10人(8座席)増やし輸送力を増強

## ⑪ NexTram KIRIKO(9513号)

【2019年改造 1両】



明治維新150周年を記念して製作された車両。車内には木材をふんだんに使い、窓向きに座るパノラマ席を設け、装飾に薩摩切子を使用

## ⑫100形 レトロ電車 かごでん

【2012年製造 1両】



愛称『かごでん』 2012年12月1日の電車運行100周年を記念して、大正時代から昭和30年頃まで運行していた当時の20形電車をモチーフに製造

## ⑬カフェトラム(605号)形

【1960年製造 1両】



2017年にカフェトラムにリニューアル

## ⑭貨車(花3号 1両)

【2021年改造 1両】



旧504号を花電車用の車体に改造

形式別車両数				
営業車両				その他
一般車両		超低床電車		
500形	1 両	1000形	9 両	カフェトラム(605号)
600形	8 両	7000形	4 両	貨車(花3号)
2100形	2 両	7500形	4 両	計
2110形	3 両	計	17 両	
2120～40形	6 両			
9500形	15 両			
9700形	2 両			
100形	1 両			
計	38 両			
合計				合計
				2 両
				総計
				57 両